

令和4年度普及活動アルバム

諏訪農業農村支援センター

令和4年度は「第3期長野県食と農業農村振興計画」及び「普及活動基本計画（5か年計画）」の最終年度として、それぞれの活動の検証と総まとめとなりました。

重点活動である「諏訪ブランド農産物を支える担い手の育成」では、地域の共通課題でもある排水対策について研修会や検討会を開催するとともに、新規就農者のスキルアップや営農確立を支援しました。その他、アブラナ科属等の重要病害虫「テンサイシストセンチュウ」対策などに対し、関係機関と連携して取り組みました。



【通年】【重点課題】

「湿害対策手引書」を作成

諏訪管内の主要品目の担い手確保・育成を目標に、重点活動を展開しました。

最終年度となる本年度は、活動対象とした7名それぞれの取組みについて評価を行った他、地域の共通課題である湿害対策について、農家の皆さんの工夫や取組を「湿害対策手引書」としてまとめました。



【通年】

「難防除病害虫」への対応

テンサイシストセンチュウとセルリー疫病は、諏訪管内で国内初確認された病害虫です。

テンサイシストセンチュウに対しては防除方法の実証に取組み、9割のほ場で再発を防ぎました。一方、セルリー疫病に対しては農薬の適用拡大に向けて試験場と連携して取組んだ他、農家へのアンケート調査等から防除ポイントが絞り込まれました。



**【5月】
「一等米比率の向上」
に向けた品種検討**

諏訪管内の米穀生産額は、全体の1/4を占めていません。標高が高いことから地域の栽培品種の約6割は「あきたこまち」ですが、本年度から新たに「つきあかり」の作付が拡大しました。こうした品種の特徴を把握し、地域に即した栽培・防除に資するため品種試験田を地域に設け、生育や収量を調査しました。



**【7月】
「トルコギキョウの土壌還元
消毒」の実演会を開催**

諏訪管内のトルコギキョウで大きな問題となっている土壌伝染性病害について、環境にやさしい防除技術「土壌還元消毒」を現地実証しました。当日は処理方法の実演会を行い、生産者25名が参加しました。当年の病原菌密度の低下が確認でき、来年は実際に栽培して効果の判定を行います。



**【1月】
「農ガールのつどい」
を連携開催**

県農村女性マイスター協会諏訪支部とJA信州諏訪女性部が連携して「農ガールのつどい」を企画し、SDGsをテーマに開催しました。当日は女性農業者を中心に61名が参加し、それぞれ10名程に分かれワークショップを行い、身近なSDGsの実践について活発な意見交換を行いました。